

財政状況のお知らせ

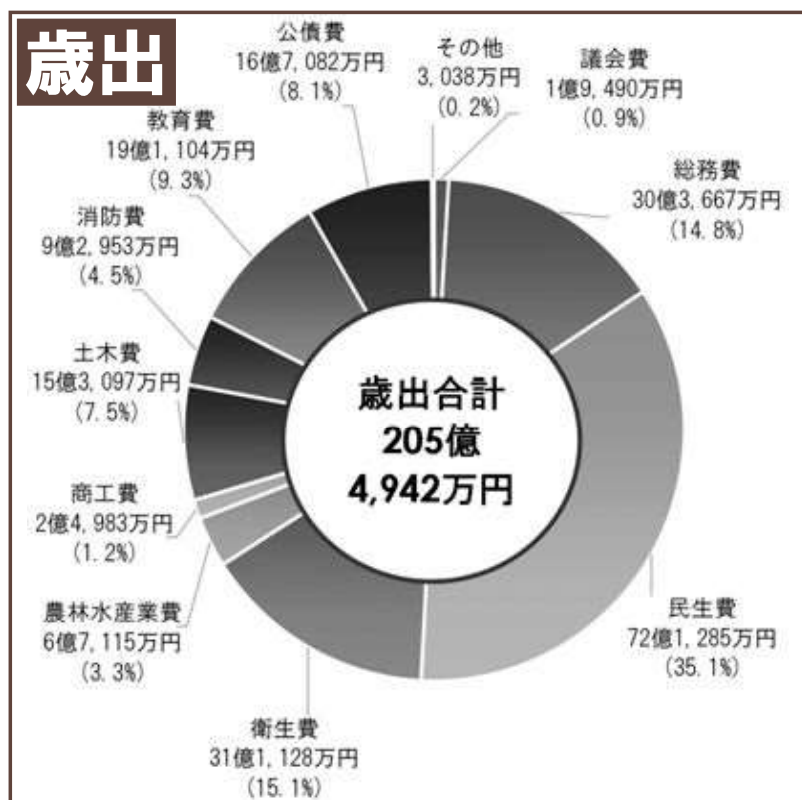
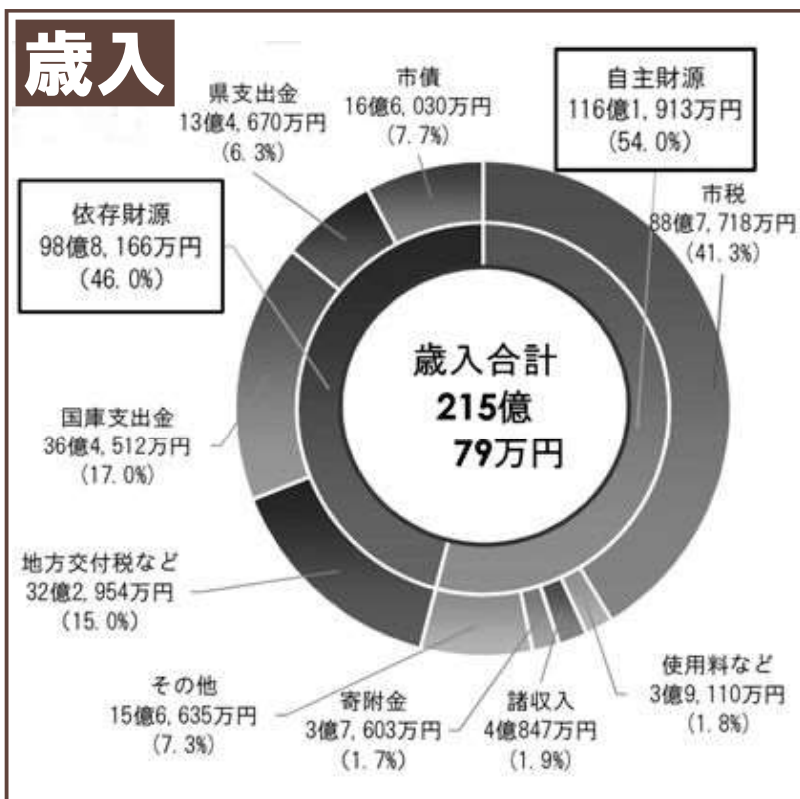
市民の皆さんが納めた税金などが、どのように使われているかをお知らせします。

今回は令和4年度決算の概要、健全化判断比率の状況、令和5年度上半期予算執行状況などを公表します。

○令和4年度決算の概要

一般会計の歳入決算額は215億79万円で前年度比2.5%の減、歳出決算額は205億4,942万円で前年度比0.2%の減となりました。前年度比較での主な増減要因は、令和3年度に新型コロナウイルス感染症対策として、国の施策により実施した、子育て世帯や住民税非課税世帯などへの給付金が約8億3千万円の減額、また、令和4年12月に供用を開始した広域火葬場整備事業が約5億2千万円の増額、令和5年4月に開館した市立図書館整備事業が約3億4千万円の増額となりました。

市税は、固定資産税・償却資産の大幅な減額により、市税全体では約6千万円の減額となりました。



令和4年度に市民の皆さん1人あたりに使われたお金は、**494,738円**でした。
 ※歳出決算額 ÷ 41,536人
 (住民基本台帳人口 令和5年3月31日現在)



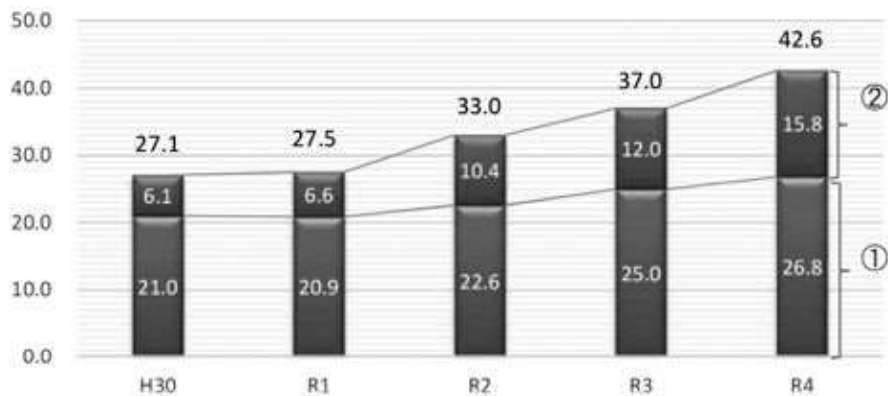

用語解説

自主財源	富津市が自らの権限で収入することができる財源
	市税 市民税、固定資産税など市に納付される税金
	使用料など 公共施設の使用料、住民票の交付手数料など
	諸収入 市税延滞金、預金利子、貸付金の元金収入、その他雑入など
	寄附金 ふるさと納税などの寄附金
	その他 財産収入、基金からの繰入金、前年度で生じた剰余金のうち当該年度への繰越金
依存財源	国・県から交付される財源など
	地方交付税など 国や県が徴収した特定の税などから分配されるもの
	国庫支出金 市の事業に対し国から交付されるもの
	県支出金 市の事業に対し県から交付されるもの
	市債 国や金融機関などから調達する長期的な借入金

議会費	市議会の運営など
総務費	庁舎の管理、企画関係、税金賦課徴収、戸籍管理、選挙、統計調査など
民生費	子育て支援、生活保護、高齢者支援、障がい者支援、保育所運営費など
衛生費	各種検診、予防接種、環境対策、ごみ処理、公害対策など
農林水産業費	農業・林業・水産業の振興費など
商工費	観光振興、商工振興、消費生活対策など
土木費	道路・橋・河川・公園・市営住宅の管理、都市計画など
消防費	火災の予防・消火、救急活動、消防署・消防車両の管理・運営など
教育費	小・中学校、公民館、スポーツ施設などの管理・運営、文化財の保護など
公債費	市の借入金（市債）の返済金
その他	災害復旧、労働対策など

一般会計の基金(貯金)残高推移

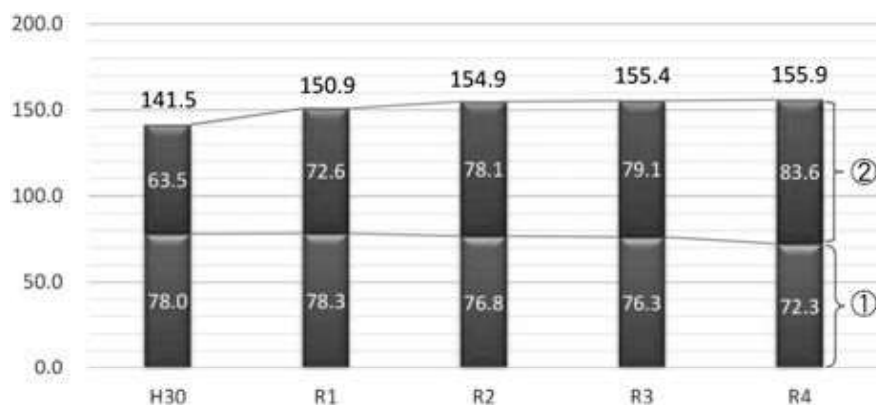
①財政調整基金 ②その他の基金 (単位：億円)



市の貯金である基金の残高は、前年度の37億円から5億6千万円増の42億6千万円となりました。このうち、財政調整基金は、前年度決算剰余金の2分の1以上の6億3千万円を積み立てましたが、図書館整備事業や広域火葬場整備事業などの財源として4億5千万円を取り崩し、26億8千万円となりました。

一般会計の市債(借入金)残高推移

①臨時財政対策債 ②臨時財政対策債以外 (単位：億円)



市の借入金の残高は、広域火葬場整備事業などの財源としたことにより、前年度の155億4千万円から5千万円増の155億9千万円となりました。市債は臨時財政対策債などを除き、将来に渡り便益を受けることとなる道路や建物の整備費などを借り入れ、その支払を分割させることで、現世代と後世代の住民とで負担を公平化させる役割を担っています。

会計名		歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計		215億 79万円	205億 4,942万円	9億 5,137万円
特別会計		116億 5,769万円	114億 4,770万円	2億 999万円
内訳	国民健康保険事業	55億 753万円	54億 2,305万円	8,448万円
	後期高齢者医療	7億 667万円	6億 9,295万円	1,372万円
	介護保険事業	54億 4,349万円	53億 3,170万円	1億 1,179万円

○健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、「健全化判断比率」を公表します。算定した比率が国の定めた早期健全化基準や財政再生基準を上回ると、財政運営上危険な状態と判断され、それぞれの計画に従い、財政健全化を図ることになります。富津市の令和4年度決算に基づく各比率は、いずれも基準を下回っています。

健全化判断比率

指標名	富津市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	赤字なし	13.07%	20.00%
連結実質赤字比率	赤字なし	18.07%	30.00%
実質公債費比率	7.90%	25.00%	35.00%
将来負担比率	46.60%	350.00%	-

**財政健全化の比率はいずれも基準を下回っています。
引き続き、経営改革に取り組んでいきます。**

用語解説

- **実質赤字比率**
一般会計の実質的な赤字が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- **連結実質赤字比率**
特別会計を含む全ての会計を合算し、市全体としての赤字の程度を示す指標
- **実質公債費比率**
借入金の実質的な年間返済額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標
- **将来負担比率**
将来的に市が支払うべき負担見込額が、市の年間の収入に対して、どの程度かを示す指標

○令和5年度上半期予算執行状況など（4月～9月）

令和5年度の予算の執行状況、市債の現在高などをお知らせします。予算の執行状況は上半期中の収入と支出を示すもので、市債の現在高は市の借入金の状況を示しています。

これらは市の財政状況が現時点でどのような状況にあるかを市民の皆さんにお伝えするため、年2回（5月・11月）公表しています。

一般会計の執行状況

歳入	予算現額	収入済額	収入率
市 税	86億5,889万円	50億 67万円	57.8%
交付税など	33億3,419万円	18億 922万円	54.3%
使用料など	4億6,083万円	1億2,814万円	27.8%
国庫支出金	28億9,309万円	10億9,076万円	37.7%
県支出金	15億1,021万円	1億 458万円	6.9%
寄 附 金	5億 506万円	9,024万円	17.9%
諸 収 入	3億9,455万円	8,530万円	21.6%
市 債	18億4,540万円	0円	0.0%
そ の 他	10億2,593万円	6億2,285万円	60.7%
合 計	206億2,815万円	89億3,176万円	43.3%

歳出	予算現額	支出済額	執行率
議 会 費	1億9,430万円	1億 136万円	52.2%
総 務 費	27億6,594万円	10億6,404万円	38.5%
民 生 費	73億4,979万円	26億1,089万円	35.5%
衛 生 費	31億3,403万円	9億5,362万円	30.4%
農林水産業費	7億3,758万円	1億 112万円	13.7%
商 工 費	2億1,530万円	1億3,216万円	61.4%
土 木 費	13億3,607万円	5億7,064万円	42.7%
消 防 費	9億7,285万円	3億7,986万円	39.0%
教 育 費	22億4,638万円	8億1,077万円	36.1%
公 債 費	16億1,960万円	6億1,459万円	37.9%
そ の 他	5,631万円	15万円	0.3%
合 計	206億2,815万円	73億3,920万円	35.6%

※予算現額とは、当初予算額に補正予算額などを加えたものです。

特別会計の執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険事業	57億3,533万円	22億4,601万円	20億4,129万円
後期高齢者医療	7億5,467万円	2億7,877万円	1億4,784万円
介護保険事業	56億1,077万円	23億3,893万円	22億6,021万円

市債の現在高

一般会計	149億9,053万円
特別会計	0円

市民1人あたりの市債負担額

363,152円

※市債現在高÷41,279人

1世帯あたりの市債負担額

748,143円

※市債現在高÷20,037世帯

人口:41,279人 世帯:20,037世帯

(住民基本台帳人口)

令和5年9月30日現在)

※1万円未満は四捨五入しています。 固財政課 ☎0439-80-1237

一時借入金の状況

一般会計	0円
特別会計	0円

市の主な財産

土地	2,021,938㎡
建物	156,236㎡
財政調整基金	30億4,765万円
その他の基金	25億7,088万円